



Title	「災害と共生」創刊の辞
Author(s)	渥美, 公秀
Citation	災害と共生. 2017, 1(1), p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67182
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「災害と共生」創刊の辞

編集委員長 渥美公秀

本ジャーナル『災害と共生』は、「災害と共生」研究会が発刊する電子ジャーナル（紙媒体なし、大阪大学学術情報庫 OUKA 利用、無料）である。本ジャーナルは、「災害と共生」研究会内外からの論文、書評を査読して掲載し、年2回発行する。本ジャーナルがすべての読者に届くよう、音読、翻訳など積極的に対応する。

「災害と共生」研究会は、2016年4月17日に設立する予定で準備が進んでいた。しかし、その直前、熊本地震が発生し、研究会の立ち上げは延期となった。この間、災害が発生しても研究会を開催すべきだと主張した人はなかった。また、災害が発生しているのだから研究会での議論など後回しだと主張した人もなかった。災害現場で実践に徹することと、そこから得た洞察を徹底して言語化する作業。それらは、常に並行して行われるべきである。それから7ヶ月。熊本をはじめ各地の被災地で過ごす人々の安寧を心から願いつつ、第1回研究会を開催した。11月17日であった。

本ジャーナルが、災害を巡る共生を実践し思考する一人でも多くの人々に読まれることを期待したい。